

平成20年8月27日

貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年8月26日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

北部は強く貧酸素化しており、DO0.5ml/L以下のほぼ無酸素水が広く分布していました(図1)

8月22日に船橋～千葉市地先に青潮が発生しましたが、現在も継続している模様です(千葉県水質保全課, 千葉海上保安部の情報より)。観測結果にもこの現象は表れており、船橋～袖ヶ浦地先の表層DOが低く、船橋地先と千葉港内は2ml/L以下を示しました(図2)。

底層にはまだ無酸素に近い水塊が多く分布しています。北寄り(特に北東風)が吹き続けますと、千葉側の干潟域に貧酸素水が及ぶ危険が生じますので、しばらくは風向きに注意が必要です。

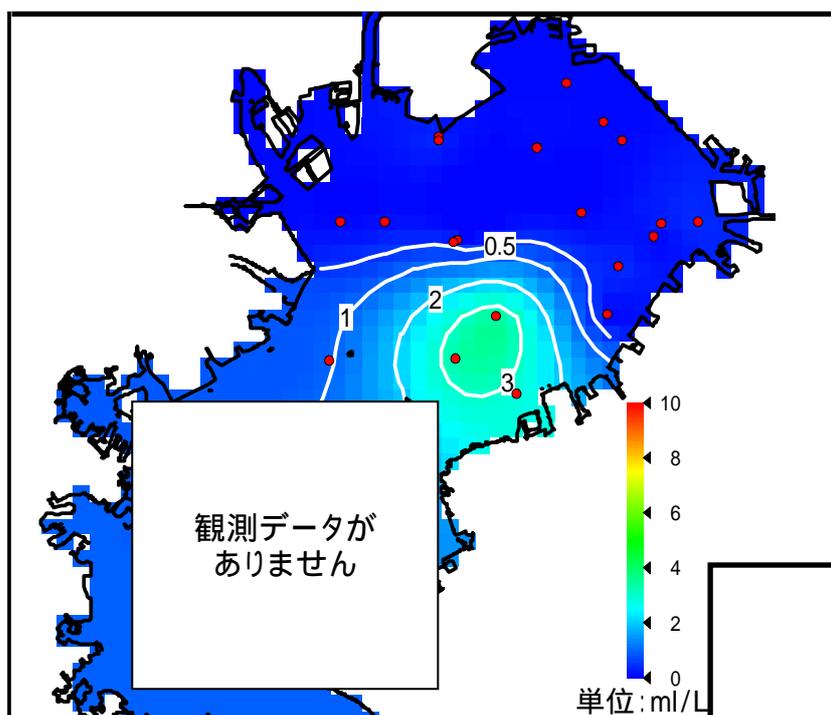


図1 底層の溶存酸素量分布

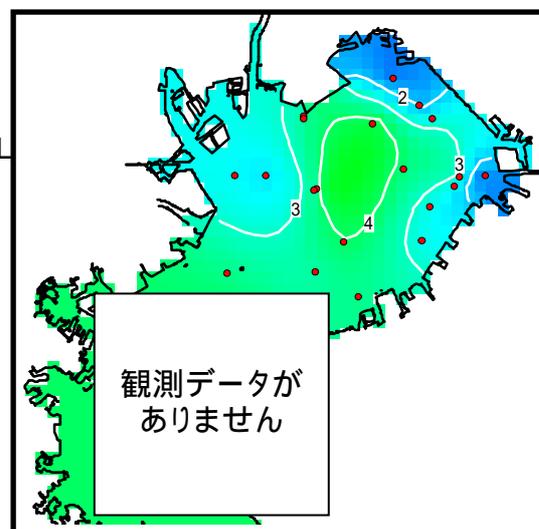


図2 表層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30～40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	